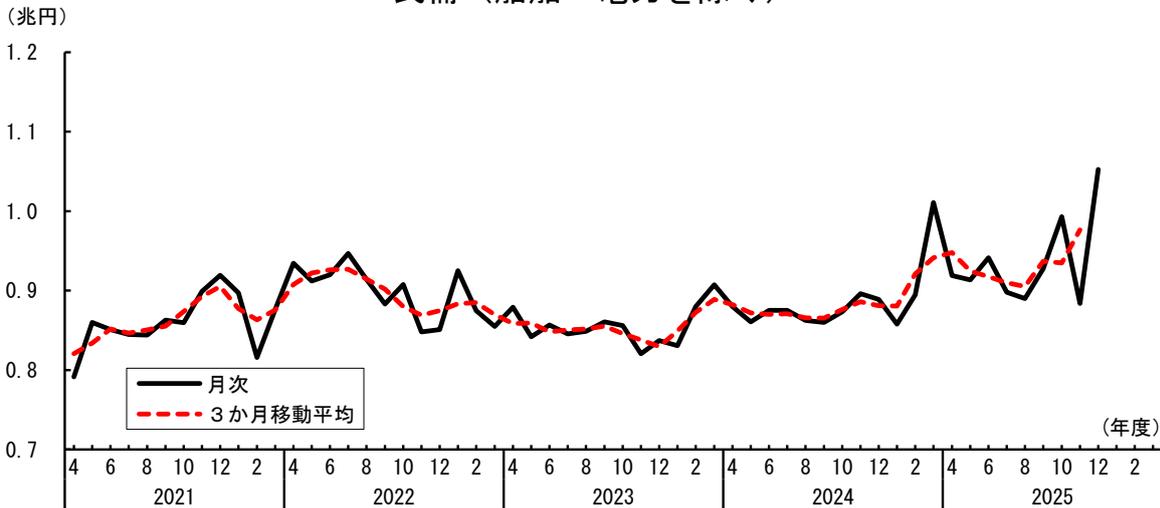


機械受注統計調査(令和7(2025)年12月実績及び令和8(2026)年1~3月見通し)
結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きがみられる—
(基調判断据置き)

- 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、12月は前月と比較して19.1%増加し、2か月ぶりの増加となった。
- また、3か月移動平均をみても、4.4%増となっている。12月の受注額は大型案件によって押し上げられていることや、先月11.0%減少した後の単月の動きであることを踏まえ、基調判断は「持ち直しの動きがみられる」に据置きとした。

民需（船舶・電力を除く）



対前月(期)比

(単位: %)

需要者	期・月	2025年 (令和7年)				2026年 (令和8年)	2025年 (令和7年)			
		1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 実績	1-3月 見通し	9月 実績	10月 実績	11月 実績	12月 実績
受注総額		2.4	△5.3	3.4	11.8	6.2	3.9	△6.8	8.5	23.8
民需		1.3	3.5	△2.6	7.0	△7.6	8.2	2.3	△7.2	25.8
〃(船舶・電力を除く)		3.9	0.4	△2.1	7.9	△4.5	4.2	7.0	△11.0	19.1
製造業		△0.9	1.5	3.4	△1.4	△4.9	23.3	△13.3	△10.8	25.1
非製造業(除船・電)		5.7	0.9	△5.0	12.8	△3.3	△8.7	28.8	△10.7	8.2
官公需		4.1	△31.2	△11.7	54.1	21.2	7.3	22.9	67.8	3.6
外需		2.5	△3.3	16.6	4.9	11.4	9.7	△21.8	5.3	38.7
代理店		2.8	9.3	△0.3	3.0	△0.3	△3.7	11.4	△2.8	2.5
民需(船舶電力を除く)		-	-	-	-	-	3.5	△0.2	4.4	-
3か月移動平均		-	-	-	-	-	3.5	△0.2	4.4	-

- (備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2025年12月末時点の調査。